

和歌山縣報

第四十五號

大正二年一月九日

○縣令

○和歌山縣令第二號

明治四十年^{七月}縣令第三十八號渡航ニ關スル規則第一號書式中第七項ヲ左ノ通改正ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年一月九日

和歌山縣知事 川村 竹治

七、出發港 何港

(移民ハ總テ之ヲ記載シ移民ニ非サル者ニシテ北米合衆國
本土及布哇以外ノ地ニ渡航スル者ハ之カ記載ヲ要セス)

○告示

○和歌山縣告示第三號

左記ノ通特別漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登録ス

大正二年一月六日

和歌山縣知事 川村 竹

免許年月日	免許番號	漁業種類及名	漁場ノ位置	漁獲物種類	漁業時期	漁業權存續期間	條件又ハ制限	漁業權者
大正二年一月六日	一一八五	第六種 漁業 鱈(一名鱈網一艘張)	日高郡鹽屋村大字南鹽屋沖合通稱「クヲカケ」	鱈、小鱈	自一月一日起至一月卅二年	貳拾箇	一、他ノ免許漁業ト相容レヌト認メタルトキハ操業ノ順序ヲ指定スルコトアルヘシ	日高郡鹽屋村鹽屋浦漁業組合
	一一八六	全	全郡全村全大字沖合通稱「ガンゴ」	全	全	全	全	組合
	一一八七	全	全郡全村全大字沖合通稱「沖ノ瀬」	全	全	全	全	組合
	一一八八	全	全郡全村全大字沖合通稱「ナカノセ」	全	全	全	全	組合
	一一八九	全	全郡全村全大字沖合通稱「ワレイワ」	全	全	全	全	組合
	一一九〇	全	全郡全村全大字沖合通稱「荒瀬」	全	全	全	全	組合

○和歌山縣告示第四號

左記ノ通定置漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登録ス

大正二年一月六日

和歌山縣知事 川村竹治

免許年月日

免許番號

漁業種類及名

漁場ノ位置

漁獲物種類

漁業時期

漁業權存續期間

條件又ハ制限

漁業權者

大正二年一月六日

一一九一

漁業類
鮎類
鮎類
鮎類

和歌山縣那賀郡長
田村大字島字神ノ
木ト全縣全郎龍門
村大字杉原字上島
トニ跨ル紀ノ川筋

鮎

自一月一日起至十一月三十日

五箇年

一 木石類ヲ以テ河水ヲ堰立ツヘカラス
一 舟筏ノ通航上支障トナ
一 ツナル様設備スヘシ
一 河川流幅五分ノ一以上
一 ノ魚通ヲ閉通スヘシ
一 漁期終了後一週間内ニ
建設物ヲ撤去スヘシ

那賀郡長田村大
字島

矢半田伸成

○和歌山縣告示第五號

右ノ者今般轉住ノ旨ヲ以テ訂正願出ニ依リ本日左ノ通り和歌山縣產婆名簿ヲ訂正ス
大正元年十二月九日

西牟婁郡三舞村大字田野井四百七十番地
開業產婆
榎本たみへ

和歌山縣知事 川村竹治

西牟婁郡田邊町大字下屋敷町二十七番地

○和歌山縣告示第六號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス
大正二年一月九日

和歌山縣知事 川村竹治

和歌山市鍋屋町二番地

和歌山縣平民

阪上りよ

第七八三號

明治十七年四月生

○通牒照會

○通牒

○勅第四五一號

大正二年一月九日

郡市役所

町村役場御中

内務部

暹國商標條例制定發布ニ付登録申請方ノ件ニ關シ外紙寫ノ通駐暹臨時代理公使ヨリ外務大臣へ報告有之タル越テ以テ其筋ヨリ移牒越候條此旨御部内當業者へ周知方可然御取計相成度

(別紙)

盤谷發 大正元年十二月二十七日後三、四〇
本省着 二十八日前七、一〇

桂外務大臣

三穗臨時代理公使

第五〇號

暹國商標條例ハ來年四月發布セラルヘキ旨内聞セリ尙右ニ關シ外務次官ニ會見セシニ人民ヨリノ商標登錄願ハ當該公使館ヨリ暹國外務省ニ提出スレハ同省ニ於テ便宜之ヲ取次キ所管廳ナル農務省ニ送付スヘシクスルトキハ條例施行ノトキ直チニ登録セラル、コトヲ得ルミナラス今日ヨリ施行ノ日ニ至ル迄ニ於テモ一種ノ効力アルヘシト云ヘリ故ニ登録申請者ハ當地在留者タルヲ要スルニ付本邦商標所有者ハ當地在留者ニ委任スルトキハ今日ニ於テモ登録申請ヲ爲シ得ヘシ

○ 辭 令

○大正元年十二月二十四日
月俸拾四圓ヲ給ス

警察督助手 居谷 純

○大正元年十二月二十六日

願ニ依リ職務ヲ免ス

休職土木技手 關谷熊太郎

○大正元年十二月二十七日

任和歌山縣屬
給七級俸

松村 松盛

内務部土木課兼地方課勤務ヲ命ス

分任物品會計官吏ヲ免ス

西牟婁郡書記 岡本米治

分任物品會計官吏ヲ命ス

西牟婁郡書記 岩田賢三

○大正二年一月六日

文官普通試驗委員ヲ命ス

事務官 長岡隆一郎

文官普通懲戒委員ヲ命ス

産婆試驗委員長ヲ命ス

檢疫委員長ヲ命ス

畜牛結核病検査員長ヲ命ス

警部特別任用考試委員ヲ命ス

事務整理委員ヲ命ス

和歌山縣土木技手ヲ命ス

月俸貳拾五圓ヲ給ス

河島 精一

○大正二年一月七日

和歌山縣仙溪學團長兼教師ヲ命ス

月俸參拾五圓ヲ給ス

逸見 清

和歌山縣仙溪學團長ヲ免ス

事務官

間野 一

日高郡南部町上南都村岩代村學校組合立日高第二實業學校書記兼助教諭

西村 義一

願ニ依リ職務ヲ免ス

縣立和歌山中學校書記ニ任ス

橋渡 正之助

月俸拾五圓ヲ給ス

縣立和歌山中學校助教諭心得兼務ヲ命ス

縣立和歌山中學校書記

橋渡 正之助

畜牛結核病検査員ヲ命ス

警部

早川 勝藏

○彙報

○進級及叙勳

客年十二月十八日警部勳八等宇田鶴楠日高郡書記正八位勳八等増田隆祐ハ勳七等ニ師範學務長從六位有坂巖造技師正七位相川規一ハ勳六等ニ和歌山中學校書記牧秀ハ勳八等ニ叙セ

ラレ執レモ瑞寶章ヲ授ケラレタリ

○警察部長交迭

客年十二月三十日警察部長事務官廣瀬直幹ハ内務書記官(高等官五等四級俸)ニ任

セラレ神奈川縣事務官長岡隆一郎ハ本縣事務官(高等官六等四級俸)ニ任セラレ警察部長ニ補セラレタリ

○轉任 市立和歌山商業學校教諭寺澤英一郎ハ客年十二月二十七日宮崎縣立宮崎中學校教諭ニ轉任セリ

○行 政

○郡會 那賀郡ニ於テハ大正二年一月二十日通常郡會ヲ招集ス

○町村事務研究會 本月四日那賀郡池田村役場ニ於テ岩出、田中、根來、山崎、小倉、上岩出、池田ノ各町村職員同月六日同郡名手村役場ニ於テ長田、上名手、王子、麻生津、龍門、狩宿、輛淵、粉河、川原、名手、ノ各町村職員會合シ村田縣屬岡本前川兩郡書記臨席町村會議員選舉及町村歳入歳出豫算調製ニ關スル事務等ノ研究ヲナシタリ

○衛 生

○虎列拉患者 客年十二月^{自二十一}至二十五日^間ニ於ケル新患者數左ノ如シ
神奈川縣一名 東京府一名 千葉縣六名

○慈 惠 救 濟

○恩賜濟生會 和歌山市内救療狀況

(第七一回)

救療月日及場所 大正元年十二月廿七日道場町海善寺
救療當務者 醫師今井與市藥劑師吉山豐次郎看護婦松山ハルエ

患 者 數

舊患者男八名新患者男一名計男八名

新患者病名別

氣管支加答兒兼腸加答兒女一名

(第七二回)

救療月日及場所

大正二年一月四日道場町海善寺

救療當務者

醫師上辻貞輔藥劑師井上猪三郎看護婦中西波磨

患 者 數

舊患者男四名新患者ナシ計男四名

(第七三回)

救療月日及場所

大正二年一月六日道場町海善寺

救療當務者

醫師池田昌克藥劑師大竹英利看護婦永立なつ枝

患 者 數

舊患者男三名新患者男一名計男四名

新患者病名別

梅毒男一名

○ 正 誤

大正元年十二月二十八日縣報號外縣令第一八號冒頭「本縣」ノ下ニ「漁業組合及」ヲ脱ス「和歌山縣訓令第十六號」ハ「和歌山縣訓令第十六號」ノ誤

○ 觀 象

大正二年自一月四日至一月六日氣象 (和歌山地方測候所觀測)

種 目	一 月 四 日		一 月 五 日		一 月 六 日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七六七耗八	七六六耗四	七六四耗九	七六七耗四	七六〇耗一	七六六耗八
平均氣溫	四度九	六度七	七度三	四度四	八度二	四度一
最高氣溫	一〇度六	一三度四	一一度六	六度〇	一二度六	八度一
最低氣溫	〇度二	一度〇	四度〇	二度九	五度四	一度五
最多風向	北西	西北四	東北東	西北四	北	西北四
平均風力	二米二	四米三	二米〇	六米〇	三米九	三米五
天 氣	晴	晴	曇	曇	半晴少雨	晴
降水量						
記事雜象	曉開結霜夜間月環 ヲ映ス	時間結霜	時間微雨	夕刻微霰	朝間並ニ夕刻降雨 午前十一時九分四 十一秒ヨリ一分十 三秒間ノ對霰	

大正二年一月八日印刷
大正二年一月九日發行
每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行

和歌山縣知事官房

印刷所
和歌山市北休實町六番地
宗七
版部